※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学特論	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校数学科用「NEXT 数学 B」,「 NEXT 数学 C」（数件出版）						
副教材等	4STEP 数学 B, 4STEP 数学 C （数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①授業用ノートと問題集用ノートを準備する。
②授業を受け、疑問点があればまとめておく。
③授業後、疑問点があればその内容を授業者や周囲の生徒に質問、理解する。
④授業範囲の 4STEP 問題集を問題集用ノートに解答する。
⑤④での疑問点があれば②③と同様にする。
⑥さらに自身で考えて補う。

２　学習の到達目標

①各単元の基本的な概念、知識を理解し、4STEP 問題集のＡ・Ｂ問題を難なく解答できる。
②分野横断型の問題について、利用すべき知識を適切に選択し、解答できる。
③単元の内容に興味を示し、自ら新たな問いを考えることができる。また、必要に応じて他者と協働して理解を深めることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各単元の基本的な概念と知識を理解している。 また、それらを用いて基礎的な内容を適切に処理できる。	各単元の知識を用いて問題を論理的に考察し、その過程を表現することができる。 また、分野横断型の問題を多角的に分析して用いるべき知識を適切に判断し、利用することができる。	各単元の内容に興味を示し、積極的に理解しようとする態度を身に付けている。 必要に応じて他者の力を借りつつ問題を解決しようとする態度を身に付けている。 単元の途中や終わりに取り組みを振り返り、理解の不十分な点を分析し、今後の学習につなげようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数列	数列と一般項 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 和の記号Σ 階差数列 いろいろな数列の和 漸化式 数学的帰納法	a: :数列に関する用語，記号について理解している。等差数列、等比数列の一般項、和について理解している。いろいろな数列の和を計算できる。基礎的な漸化式から一般項を求めることができる。 b: 数の並び方からその規則性を推定して，数列の一般項を考察できる。数学的帰納法を用いて命題の証明ができる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出ﾉｰﾄ 授業内の諸活動
	平面上のベクトル	ベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示	a:ベクトルに関する用語について理解している。ベクトルの基本的な演算ができる。ベクトルの内積の計算ができる。 b:ベクトルを用いて平面図形について考察できる。ベクトルを用いて数式について考察できる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出ﾉｰﾄ 授業内の諸活動
後期	空間のベクトル	空間の点 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 ベクトルの図形への応用 座標空間における図形	a:ベクトルに関する用語について理解している。ベクトルの基本的な演算ができる。ベクトルの内積の計算ができる。 b:ベクトルを用いて空間図形について考察できる。ベクトルを用いて数式について考察できる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出ﾉｰﾄ 授業内の諸活動

※令和４年度以降入学生用

	統計的な推測	確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積 二項分布 正規分布 母集団と標本 標本平均の分布 推定 仮説検定	a:確率変数、確率分布、確率変数の期待値、分散、標準偏差、確率変数の変換、確率変数の和・積、二項分布、正規分布について理解している。母集団と標本、推定、仮説検定についての基本的な用語を理解している。 b:母平均、母比率の推定ができる。仮説検定を行うことができる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出ﾉｰﾄ 授業内の諸活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度